



下水道モニター
令和7年度 第2回アンケート結果

下水道モニターアンケート第2回では、「下水道の浸水対策」、降雨情報の「東京アメッシュ」などについてアンケートしました。

- ◆ 実施期間 令和7年7月23日(水)～8月6日(水)の15日間
- ◆ 対象者 東京都下水道局「令和7年度下水道モニター」
※東京都在住 18歳以上の男女個人
- ◆ 回答者数 595名

年代	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
20歳代以下	30	52	57.7%	5.0%
30歳代	91	164	55.5%	15.3%
40歳代	157	262	59.9%	26.4%
50歳代	170	244	69.7%	28.6%
60歳代	108	153	70.6%	18.2%
70歳以上	39	65	60.0%	6.6%
合計	595	940	63.3%	100.0%

※10歳代（18歳及び19歳）と20歳代の回答は「20歳代以下」として集計した。

- ◆ 調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート
- ◆ 内容
 - 1 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組..... 1
 - 2 家庭での浸水対策の取組..... 2
 - 3 「東京アメッシュ」に関する設問..... 3
 - 4 下水道に油を流さない取組..... 5

構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。

1 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組

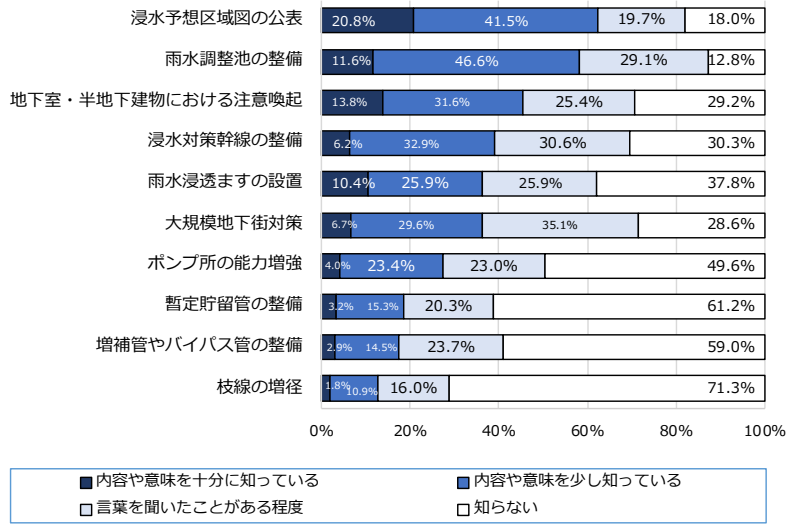
(1) 浸水対策の取組の内容や意味の認知度

局の浸水対策の各種取組への認知度は「浸水予想区域図の公表」が最も高く、次いで「雨水調整池の整備」が続いた。

Q1 局が行っている浸水対策の取組の認知度

(単一回答)

(n=595)



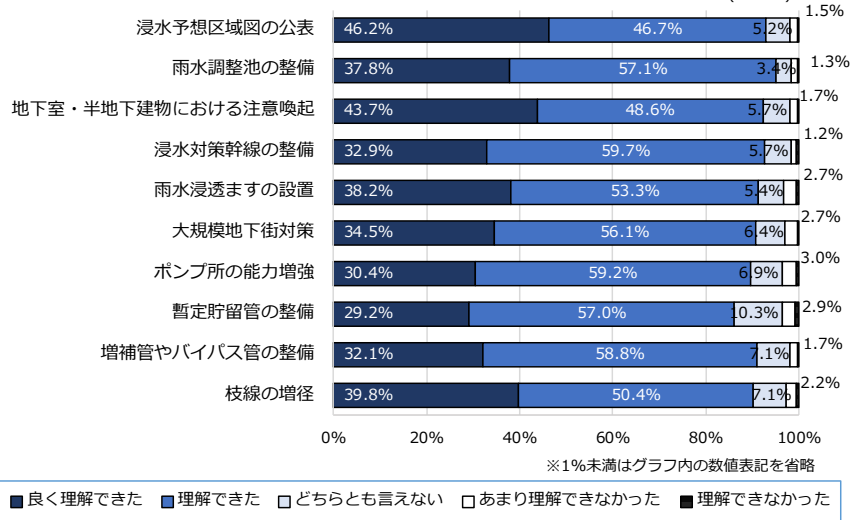
(2) 浸水対策の取組への理解

浸水対策のイメージと具体策を提示したのち、各取組への理解を尋ねたところ、ほとんどの取組で9割以上が「理解できた」と回答したが、「暫定貯留管の整備」については若干理解度が低かった。

Q2 局の浸水対策の取組への理解度

(単一回答)

(n=595)



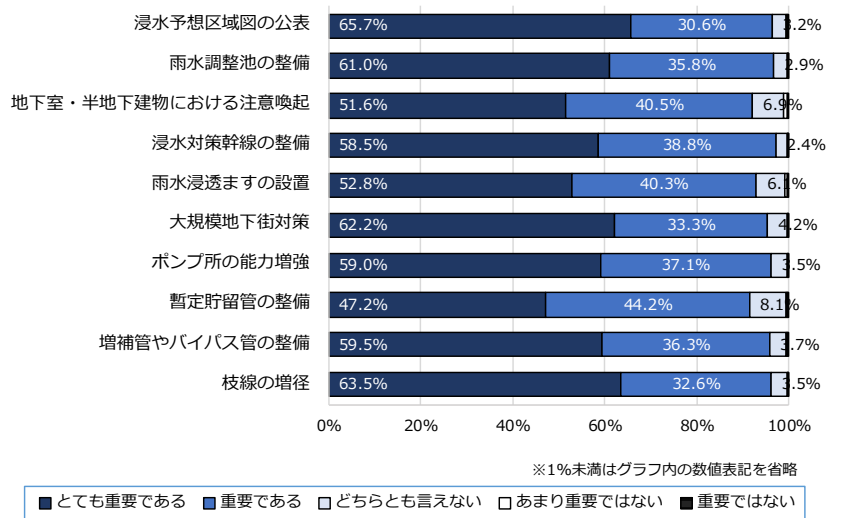
(3) 浸水対策の取組の重要度

各取組については、ほとんどの取組で9割以上が「重要」と回答した。

Q3 局の浸水対策の取組の重要度

(単一回答)

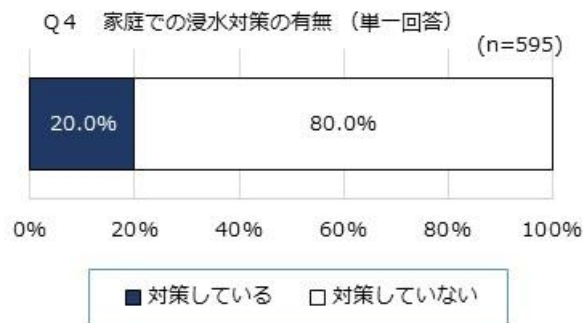
(n=595)



2 家庭での浸水対策

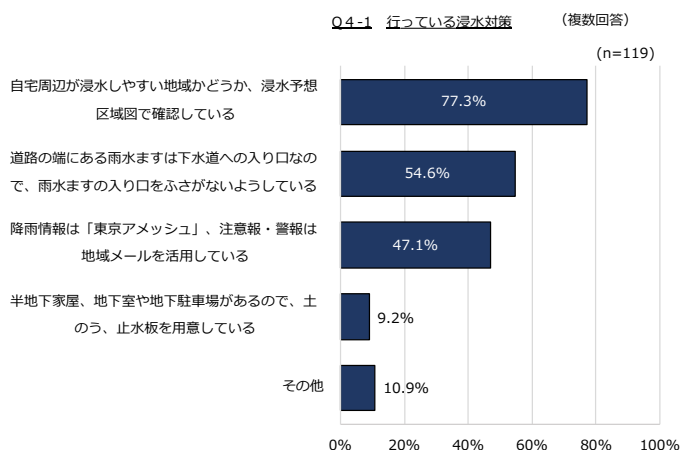
(1) 家庭での浸水対策実施の有無

家庭で浸水対策を実施しているのは、回答者の 20% だった。



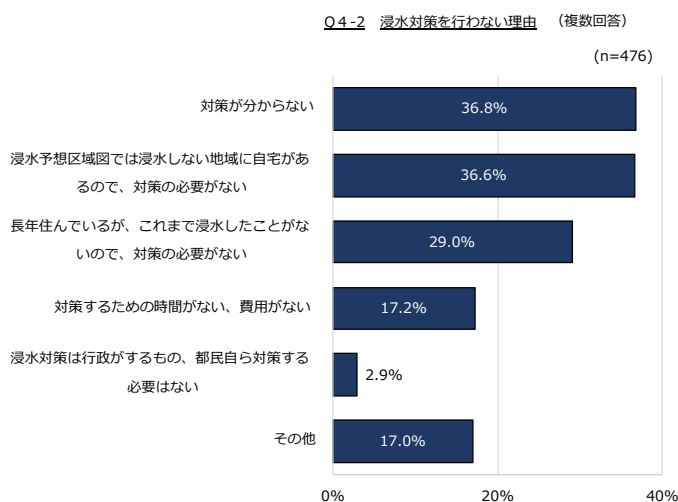
(2) 行っている浸水対策

2 (1) (Q4) で「対策している」と回答した 119 人が行っている浸水対策は、「浸水予想区域図で確認している」が最も多く、次いで「雨水ますの入り口をふさがないようにしている」、「東京アメッシュや地域メールを活用している」の順だった。



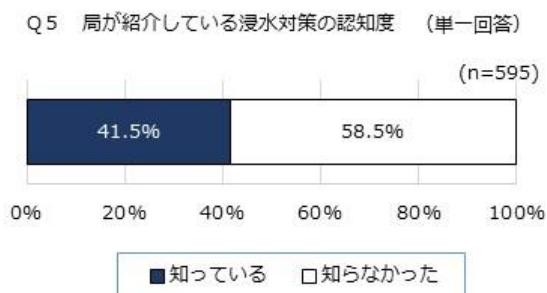
(3) 浸水対策を行わない理由

2 (1) (Q4) で「対策していない」と回答した 476 人の理由は、「対策が分からない」、「浸水予想区域図では浸水しない地域に自宅があるので、対策の必要がない」が多く、次いで「長年住んでいるが、これまで浸水したことがないので、対策の必要がない」となった。



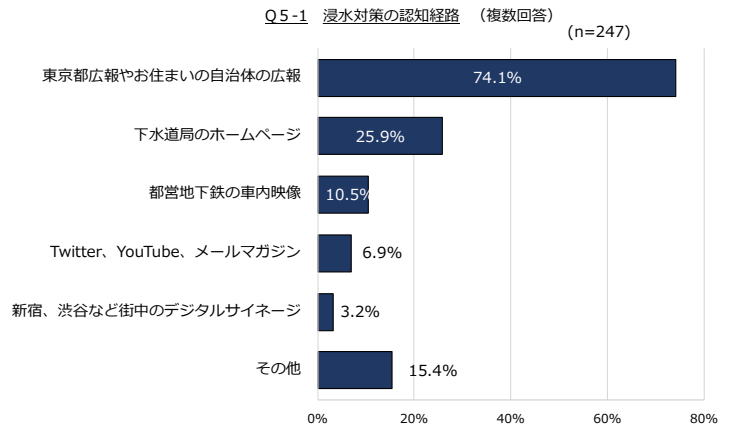
(4) 下水道局が紹介する浸水対策の認知度

下水道局が紹介している浸水対策は回答者の 41.5% が「知っている」と回答した。



(4) 浸水対策の認知経路

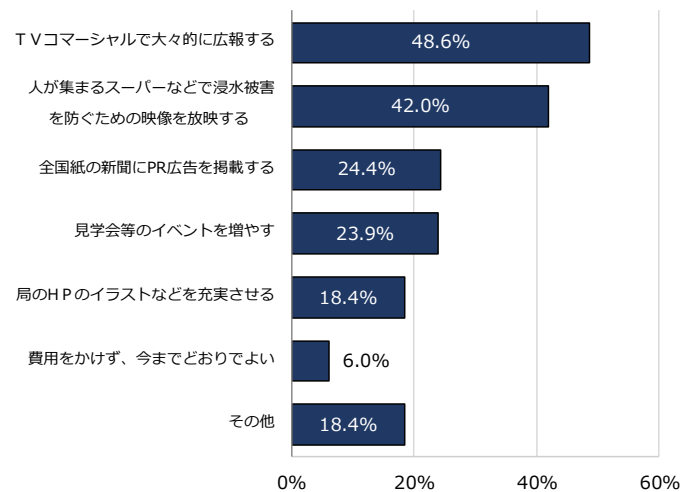
2(4)(Q5)で局が紹介する浸水対策を「知っている」と回答した247人の認知経路は、自治体の広報が74.1%、局ホームページが25.9%だった。



(5) 浸水対策のPR方法

2(4)(Q5)で局が紹介する浸水対策を「知らない」と回答した348人が考える自ら対策をしてもらうためのPR方法は「TVコマーシャルで広報する」や「スーパーなどで映像を放映する」などだった。

Q5-2 自ら対策をしてもらうためのPR方法 (複数回答) (n=348)

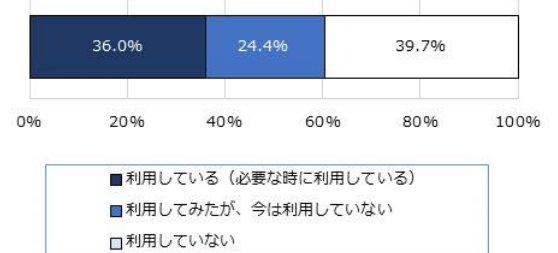


3 「東京アメッシュ」に関する設問

(1) 「東京アメッシュ」の利用

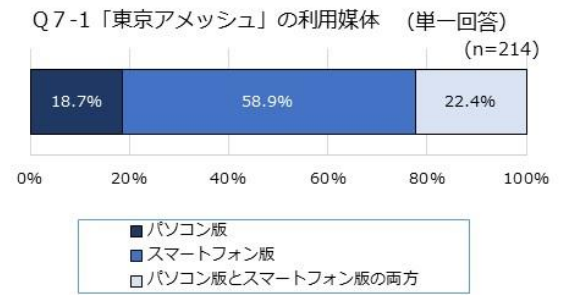
「東京アメッシュ」の利用経験者は第1回アンケート(「東京アメッシュ」を知っている(利用している・利用したことがある))の26.7%から、36.0%に増加した。

Q6 「東京アメッシュ」の利用 (単一回答) (n=595)



(2) 「東京アメッシュ」の利用タイプ

3 (1) の利用経験の設問 (Q6) で「利用している (必要な時に利用している)」と回答した 214 人は、「スマートフォン版」の利用が 58.9% と最も多かった。

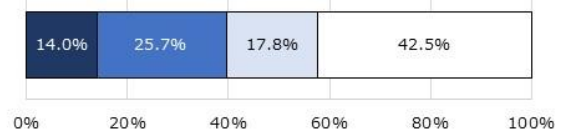


(3) 「東京アメッシュ」の利用頻度

3 (1) の利用経験の設問 (Q6) で「利用している (必要な時に利用している)」と回答した 214 人の半数程度の人が週に 1 回以上利用していた。

Q7-2 「東京アメッシュ」の利用頻度 (単一回答)

(n=214)

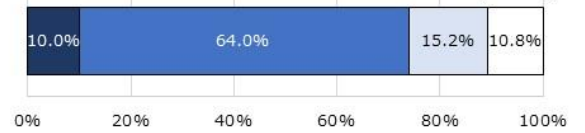


(4) 「東京アメッシュ」を利用しない理由

3 (1) の利用経験の設問 (Q6) で「今は利用していない」「利用していない」381 人の利用しない理由は「別の気象情報を使用している」が最も多く、次いで「利用方法がわからない」との回答だった。

Q8 「東京アメッシュ」を利用しない理由 (単一回答)

(n=381)



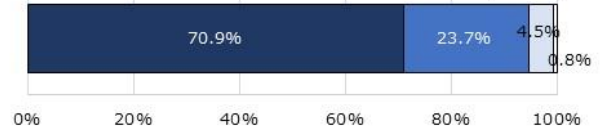
4 下水道に油を流さない取組

(1) 下水道に油を流してはいけないことの認知度

料理などで使用した油をそのまま下水道に流してはいけないことは、70.9%が「よく知っている」と回答した。

Q9 「油を下水道の流してはいけない」ことの認知度 (単一回答)

(n=595)



(2) 下水道に油を流した影響の認知度

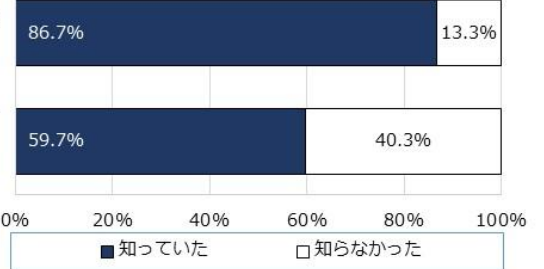
油を下水道に流すと管内で固まり、「詰まりや悪臭の原因になる」ことは 86.7%、「固まった油が『オイルボール』となって水環境悪化の原因になる」ことは 59.7%が知っていたと回答した。

油を下水道に流すと、下水道管の中で冷えて固まり、下水道管の詰まりや悪臭の原因になる

下水道管の中で冷えて固まった油が「オイルボール」となって下水道管から流出して海岸に漂着し、水環境悪化の原因になる

Q10 下水道に油を流した影響の認知度 (単一回答)

(n=595)



(3) 下水道管の詰まりによる問題の認知度

油が原因で下水道管が詰まることで、「下水が流せなくなってしまう」ことは 66.2%、「排水管から下水が逆流してしまう」ことは 55.6%が知っていたと回答した。

台所やトイレで使用した水が下水に流せなくなってしまう

台所やトイレなどの排水管から下水が逆流してしまう

Q11 下水道管の詰まりの問題の認知度 (単一回答)

(n=595)

